

活用ナビ

①【ねらい】身のまわりには多く情報があることに気づく。

②●資料AとIの題を読みましょう。どのような情報が伝えられているでしょうか。見つけたものを書きましょう。
※何の情報か不明の場合には、予想される情報で構わないことを伝える。

③●資料AとIで見つけた情報がだれに向けてのものか、なんのためのものか考え、ノートに下のような表を作って整理しましょう。
※教科書の例や②で出てきた例を用いて説明をする。
※AとIに分けなくてもよいことを伝える。

③●発表しましょう。必要なものは書き加えましょう。

④●資料AとIで自分もよく見かけたり、利用したりするものに丸をつけましょう。
●丸をつけた情報を自分はどのように利用しているか書きましょう。
※③で書いた情報が自分にも関わりがあることに気づかせたい。

④●書いたことについて話し合しましょう。
※身の回りの多くの情報について、自分たちも利用していることを理解させる。

5年-14

4 未来とつながる情報
身のまわりの情報

P170~P171

名前

5年 組 番

①【ねらい】身のまわりには多く情報があることに気づく。

②【基本】資料AとIの題を読もう。
・どのような情報が伝えられているだろうか。見つけたものを書こう。

資料Aで見つけた情報

- ・看板でお店の情報
- ・タウンマップによる街の地図情報
- ・今週のイベント情報
- ・時刻や気温の情報
- ・スマートフォンの情報
- ・バス時刻の情報
- ・改札で電子マネーの情報…

資料Iで見つけた情報

- ・テレビで天気情報
- ・絵本からの情報
- ・携帯電話で話したい情報
- ・タブレットで調べたい情報
- ・新聞からの情報
- ・ファックスの情報
- ・ラジオからの情報…

③【基本】資料AとIで見つけた情報がだれに向けてのものか、なんのためのものか考え、ノートに下のような表を作って整理しよう。

見つけた情報	だれに向けて、なんのために
タウンマップ	駅前に来た人が道に迷わないようにする。
新聞	世の中のできごとを広く伝える

④【ポイント】資料AとIで自分もよく見かけたり、利用したりするものに丸をつけよう。
・丸をつけた情報を自分はどのように利用しているか書こう。

- ・街にある看板の情報は自分もよく見かけて何の店か判断する。
- ・テレビは毎日見ている。生活に必要な情報だけではなく、楽しい情報も得ている。
- ・タブレットやパソコンで調べるものを検索している。
- ・新聞はテレビ欄を見て、どのようなテレビ番組があるか見ている。

・書いたことについて話し合おう。

資料の読解

私たちの身の回りには多くの情報があふれて、日々利用している。この2枚の絵には、街の中や家の中で受け取ったり、扱ったりする情報が描かれている。

資料Aには看板や時計、信号機、公衆電話といった街の中に設置されているものから、スマートフォンや電子マネー等、個人が持っているものまで多くのメディアとその情報が示されている。資料Bは家の居間の様子だが、ここにもテレビ、ラジオ、固定電話、タブレット、本、新聞、ラジオと多くのメディアが示されている。現代が情報社会であることがわかる資料である。

様々な情報について、子どもたちが発見しやすい資料なので、その情報が何で、誰にとって必要な情報なのか考えさせ、資料の見方を深めさせたい。

読解の方法

- (1) 最初にそれぞれの絵の中に、どのような情報が伝えられているか見つけさせる。
- (2) (1)で見つけた内容について、教科書の「学びのてびき」に基づいて、ノートに見つけた情報とその内容や特性について整理させる。時間を十分に確保して、活動に取り組みせたい。書いたものについては発表させ、それぞれの中身を交流させたい。
- (3) 資料に書かれている情報が自分たちに関わりがあることに気づかせるために、資料に丸で囲ませる。そして、具体的にどのように利用しているか書かせる。
- (4) 自分たちの利用について発表し合う過程で、自分たちの身の回りには多くの情報があり、自分たちも利用していることを理解させたい。